



宇宙開発戦略推進事務局

宇宙開発戦略本部及び宇宙政策委員会の事務を処理するほか、宇宙開発利用に関する政策の企画及び立案並びに総合調整を担当しています。さらに、「準天頂衛星システム戦略室」を設け、我が国独自の測位システムである「準天頂衛星システム」の開発・整備・運用等の施策の実施も担当しています。

Cabinet Office

我が国の宇宙開発利用の推進体制

■ 宇宙開発戦略本部と「宇宙基本計画」

宇宙開発戦略本部は、宇宙開発利用に関する我が国の施策を、総合的・計画的に推進すべく、「宇宙基本法」に基づいて設置されました。内閣総理大臣が本部長、内閣官房長官と内閣府特命担当大臣（宇宙政策）とが副本部長、その他全閣僚が構成員です。「宇宙基本計画」を策定し、実施を推進します。



宇宙開発戦略本部（令和5年12月）

■ 宇宙政策委員会

内閣府設置法に基づき、宇宙開発利用政策等を議論するため、有識者の委員により構成される会議です。

■ 省庁間の連携

宇宙の開発や利用は、宇宙探査、防災、安全保障、農林水産業まで多岐にわたり、いまや国民の生活に無くてはならないものです。そのため、多数の府省庁が宇宙政策に携わっています。宇宙開発戦略推進事務局が全体の調整役を担い、内閣官房、総務省、外務省、文部科学省、経済産業省、国土交通省、環境省、防衛省等と連携して、省庁横断的に取組を進めています。

■ 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）

政府全体の宇宙開発利用を技術で支える中核的な機関です。基礎研究から開発・利用に至るまで、一貫した研究開発を行っています。また、JAXAには新たに「宇宙戦略基金」が創設され、民間企業や大学などに資金を配分する役割も担います。内閣府・総務省・文部科学省・経済産業省の共管法人です。

宇宙基本計画（令和5年6月閣議決定）

令和5年6月に、3年ぶりに改定された、我が国の宇宙政策の基本文書です。安全保障や、経済・社会における宇宙システムの役割が拡大する中、今後20年を見据えた10年間の基本方針として、「宇宙安全保障の確保」「国土強靱化・地球規模課題への対応とイノベーションの実現」「宇宙科学・探査における新たな知と産業の創造」「宇宙活動を支える総合的基盤の強化」の目標と将来像、それを実現するための具体的な取組を示しています。

宇宙3法の運用

令和3年、「宇宙資源の探査及び開発に関する事業活動の促進に関する法律」（通称：宇宙資源法）が施行されました。宇宙開発戦略推進事務局は、宇宙開発利用に係る3つの法律を所管・運用しています。

- ・宇宙資源の探査及び開発に関する事業活動の促進に関する法律（通称：宇宙資源法）
- ・人工衛星等の打上げ及び人工衛星の管理に関する法律（通称：宇宙活動法）
- ・衛星リモートセンシング記録の適正な取扱いの確保に関する法律（通称：衛星リモセン法）

宇宙安全保障

■ 「宇宙安全保障構想」(令和5年6月宇宙戦略本部決定)

「国家安全保障戦略」で示された政策と課題を具体化し、必要な今後約10年の取組を明らかにしています。宇宙安全保障に関する我が国初の文書です。「安全保障のための宇宙システム利用の抜本的拡大」「宇宙空間の安全かつ安定的な利用の確保」「安全保障と宇宙産業の発展の好循環の実現」を掲げています。

■ 宇宙空間の安定的利用の確保に関する取組

宇宙空間の安定的利用の確保に関する議論を深めるために、宇宙空間の安定的利用の確保に関する国際シンポジウムを平成28年から開催しています。関係各国から関係者を招き、今後の課題や実施可能な事項などを議論しつつ、相互の認識を共有することにより、国際連携を強化する機会を提供しています。

■ 宇宙システムに係る不測事態対処のための取組

令和5年10月、官民の情報共有の枠組みとして、「宇宙システムの安定性強化に関する官民協議会」を設置しました。官民協議会を通じて、官民相互の連携や情報共有を促進し、官民一体となった総合的な対処体制を構築することで、宇宙空間の安全かつ安定的な利用を確保します。また、我が国が管理・利用する宇宙システム全体の機能を、多様なリスク・脅威の下でも発揮できるようにするために、官民で机上演習にも取り組んでいます。

宇宙開発利用大賞

宇宙開発利用の推進において大きな成果を収める、先導的な取組を行う等、宇宙開発利用の推進に多大な貢献をした優れた成功事例に関し、その功績をたたえることにより、我が国の宇宙開発利用の更なる進展や宇宙開発利用に対する国民の認識と理解の醸成に寄与することを目的とした表彰制度です。(平成25年度創設)



宇宙を活用したビジネスアイデアコンテスト「S-Booster」

宇宙ビジネスの裾野拡大や、宇宙スタートアップの創出・育成に向けた活動として実施するビジネスアイデアコンテストです。宇宙を活用したビジネスアイデアを幅

広く募集し、優れたアイデアには、専門家による事業化に向けたメンタリングや、投資家・大企業とのマッチングの機会提供、表彰等を行います。(平成29年度創設)



S-Booster 表彰式の様子 (令和5年11月)

準天頂衛星システムの開発・整備・運用

我が国独自の衛星測位システム「準天頂衛星システム『みちびき』」の開発・整備・運用を行っています。平成30年度に4機体制での運用を開始しました。令和7年度目途に3機を追加して、7機体制となり、GPSなど他の測位衛星を捉えられなくても機能できる持続測位が完成します。準天頂衛星システムは、位置・時刻情報を提供し、我々の生活や産業を支えています。より一層正確な測位を可能とする高精度測位サービスは、様々な分野での新たな製品・サービスやイノベーションを生み出す可能性を持っています。

■ みちびきが提供するサービス

(1) 衛星測位サービス

GPSと同程度の精度の位置情報・時刻情報を提供しています。近年ではほとんどのスマホやカーナビなどで活用されており、私たちの生活を支えています。

(2) 高精度測位サービス

衛星測位サービスを補強することでセンチメートル級の高精度な測位を可能にしています。自動車の運転支援技術やドローンなど様々な場面で活用されています。

(3) 災害対応サービス

地震や津波などの災害発生時に、みちびきからの信号を使って災害情報などを迅速に配信します。車載器やウェアラブルデバイスなどへの実装が進められています。

■ 11機体制確立に向けた開発・整備

準天頂衛星システムの機能性や信頼性を高め、衛星測位機能を強化するべく、7機体制から、さらに11機体制に向け、コスト縮減等を図ながら、検討・開発に着手しています。

並行して、各サービスの高度化や海外展開に向けた整備も進めています。



みちびき初号機後継機